

育成センター情報

No.5

令和 6年 1月12日(金)

倉敷市青少年育成センター

(Tel 426-3861 Fax 421-6018)

明けましておめでとうございます



少年補導委員の皆様をはじめ関係諸機関の方々には、旧年中は青少年の健全育成につきまして、ご理解ご協力をいただき、深く感謝いたします。本年も同様に、よろしくお願いいたします。さて、今年は辰（たつ）年です。『辰』は中国の「漢書 律曆志」では（ふるう、ととのう）を意味する「振」で、陽の気が動いて万物が振動し、草木もよく成長して形がととのった状態を表すと解釈されています。中国伝来の十二支は、もともと植物が循環する様子を表しているの、十二支の五番目に、草木の形がととのった様子を表す辰がきます。辰年は陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年だといわれています。また、たつ（竜・龍）は十二支の中で唯一空想上の生き物で、権力や隆盛の象徴であることから、出世や権力に大きくかかわる年といわれています。今後、子どもたちが、激しく変化する社会環境を生き抜くためにも、物事の善悪をしっかりと判断し、心や行動をととのえ、活力旺盛で正しい道へ大きく成長してもらいたいと願っています。青少年育成センターとしても、青少年の心に寄り添いながら、地域の方々や、関係諸機関との協力体制を強固なものとし、安心安全なまちづくり、成熟した社会環境の整備に努めていきたいと考えております。その環境の中で、青少年が健やかに大きく成長することができる実りある1年にしたいと思っています。

◇ 倉敷市少年補導委員連絡会12月地区研修会 ◇ *ご参加ありがとうございました!*

昨年12月に4地区において研修会を行いました。警察署生活安全課や倉敷少年サポートセンターから、昨年の岡山県・倉敷市の補導状況や年末から年始にかけて留意すべきことなどを、詳しく説明していただきました。さらに、中学校区に分かれてのワークショップでは、各中学校地区ともに活発な意見や情報交換がなされ、大変有意義な研修会となりました。今後の補導活動に活かしていただければと思います。各地区研修会の様子↓



◇ 水島地区少年補導員 研修視察 ◇

12月5日(火)に、広島少年院(広島トレーニングスクール 東広島市 八本松町 原)に水島地区少年補導委員12名、青少年育成センター職員4名で研修視察に参加しました。研修内容は、担当者から施設の沿革、概要、指導方針等の説明を受け、その後施設を見学しました。(詳細は以下より)

広島少年院にて↓

① 少年院は、家庭裁判所の決定により保護処分として送致された者及び少年法第56条第3項の規定により、少年院において懲役又は禁錮の刑の執行を受ける者に対し、その特性に応じた適切な矯正教育、その他の健全な育成に資する処遇を行うことにより、改善更生及び円滑な社会復帰を図ることを目的として設置された法務省所管の施設である。広島少年院は、中国地方の家庭裁判所で、第1種少年院送致決定及び第5種少年院収容決定のあった男子少年を収容している施設である。



② 矯正教育の内容

- (1) **指導内容の構成** … 少年院の矯正教育は、以下5つの指導内容で構成され、少年の犯罪的傾向を矯正し、健全な心身を培わせ、社会生活に適應するのに必要な知識・能力を習得させることを目的に行われている。

《教育の5つの指導内容》

- **生活指導** … 基本的生活訓練、問題行動指導・被害者心情理解指導・進路指導。
- **職業指導** … 職業生活設計指導（職業生活設計科～セカンドキャリアカウンセリングなど）。
職業能力開発指導（製品企画科・総合建設課・ICT技術科）。
- **教科指導** … 義務教育指導、高卒程度認定試験受験指導、補習教育指導。
- **体育指導** … 健やかな心身を育む指導～心身の健康の回復、増進を図る指導。
- **特別活動指導** … 社会貢献活動、社会見学、各種行事などによる自主性、協調性を養う指導。

- (2) **社会復帰支援** … 帰住調整（保護者に対する協力を求め帰住施設との調整など）。
就労支援（ハローワークへの訪問指導など）。
就学支援（通信制高校と連携した高等学校教育機会の提供など）。
福祉支援（福祉サービスを受けるための調整）。

③ 広島少年院は、昭和16年に広島市宇品町に設置された全国で5番目の少年院であり、その後、昭和20年5月に現在地に移転された。しかし、移転が完了しないうちに、広島に原爆が投下され、職員と少年13人が犠牲となり、現在でも原爆犠牲者追悼法要が行事として行われている。昭和52年「少年院の運営について」の通達により、長期処遇を実施する少年院となり、令和4年には短期課程が併設され、同年9月から収容開始となった（基本11ヶ月の収容）。平成13年に広島市の暴走族を一斉に取り締まった影響で、増員した。犯罪種別では、傷害や窃盗の罪で保護処分となった少年が多く、初等少年院ということで矯正も行きやすいと思われるが、それでも再入院率が10数%に達し、全国平均を上回っており、一度規範意識が崩れると社会復帰が難しい。入院中の矯正教育も、出院後の社会復帰を見通してプログラムが組まれており、ハローワークを介して在院中に仕事を決めるなどの就労支援も行っている。また、収容少年の家庭環境を見てみると、家庭の教育力による規範意識の低下や経済状況、自己肯定感の低さ等、様々な要因が絡み合っている。複雑な家庭環境に置かれている少年たちを、学校が教育し、地域が見守り、関係機関がサポートしていくという構図を周囲の大人たちが自覚し、体制化していくということが重要であり、それが少年の非行防止に繋がる。本年度の水島地区の研修視察では、矯正施設を訪問することで、少年補導委員としての自覚や役割を果たそうとする意欲・意識を今以上に高めることができた。

◇ 中学生チャレンジワーク ◇

11月8日（水）・20日（月）～22日（水）に中学校のチャレンジワークで、青少年育成センターに中学生を受け入れ、環境浄化活動に努めました。作業を終えた中学生は、「一生懸命作業をして良かったです！でも頑張りました！」と充実感が見られました。さらに庁内見学では、議会事務局のご配慮で、普段では入ることのできない議室内を案内していただきました。生徒は目をキラキラ輝かせ、興味深い表情で、真剣に説明を聞きっていました。日程を通して、何事にも誠実な態度で一生懸命取り組み、職員から褒められることの多かった、充実したチャレンジワークとなりました。



実習での様子 ↑

お知らせ

☆ 倉敷市少年補導委員連絡会1月研修会にご参加をお願いいたします!

本年度の1月研修会を、1月20日(土)13:30～ ライフパーク倉敷において実施します。12月中旬に案内を配布していますので、詳細は案内をご覧ください。今回の講師は、岡山県薬剤師会「藤原 孝子」氏です。演題は【もっと知ろう薬物のこと・地域で守ろう明るい未来】。現在も薬剤師として活躍されており、薬物乱用(オーバードーズ)などについても詳しくお話をしていただく予定です。